



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」中小企業戦略コンサルタント五十嵐 勉 平成23年08月01日 第522号

ベトナム情報

7月23日～27日までベトナム・ホーチミンとカンボジア・プノンペンに行ってきました。ブログ等でおいおい情報を発信していきます。この間、日経新聞を週末にまとめて読みました。ベトナムに関する記事がありました。

7月25日、朝刊、「JICA ベトナムで投融資」「水道事業に100億円超 海外向け再開」。政府はJICA(独法・国際協力機構)を通じてベトナムの上水道事業に100～150億円の投融資を年内に実施する方針。

7月26日、朝刊、「貿易手続き共通化 ベトナム、日本方式採用」。日本とベトナム両政府が貿易・痛感手続きの共通化で基本合意に達した。

7月26日、朝刊、「ベトナム国家主席にサン氏昇格 日米との関係強化へ」。新指導部は経済改革を重視し、大規模なインフラ整備で日本など支援国と関係強化を目指し、南シナ海における中国との対立では米国との連携が重要。

7月26日、朝刊、「ホンダ ベトナムで2輪増産 96億円投資第3工場 生産能力25%増」。ホンダのベトナム2輪市場でのシェアは64%で2位以下を引き離している。

7月26日、夕刊、「官民一体のインフラ事業 東南アジアで整備 日米が支援 民間企業参入促す」。JICAとUSAID(米国際開発局)が共同で東南アジアのインフラ整備支援に当る枠組みを創設する。具体化の第1弾はベトナムでファンド創設。

日本では、ベトナムの情報は入ってくるようになりました。ベトナム・ホーチミンにいと日本の情報は入ってきません。なでしこジャパンの話も知らない。現地企業を視察すると、輸出先は主にヨーロッパ。日本企業との接点はない。日本からのアプローチもない。日本語学校に訪問するも、日本語を勉強するベトナム人が激減している。もっぱら韓国語に人気集中。このあたりは日本と同じ。韓国のソフトパワーが功を奏している。

チャイナプラス1のベトナムではあるが、ベトナムにおいて日本の存在は薄い。日本から見るとまだ未開の地。これを機会とみるか…。

ちょっと
気になる出来事

ベトナム・ホーチミンからカンボジア・プノンペンまでバスで6時間以上かけて行きました。

ベトナムからカンボジアの国境を越えると、平原の中にカジノが立ち並んでいます。その後プノンペンに夜着いて、中心のカジノを見てきました。こんなに大金を使って遊ぶ人がいるのかというぐらい盛況でした。

カンボジア・プノンペンの街並みは、ベトナム・ホーチミンに似ていますが、車の数はプノンペンの方が多い。カンボジアの方が車に対する税制が緩和しているとのこと。

街並みは思ったよりきれい。日本人にとってカンボジアは内戦の印象が強い。今は、平和を感じます。ただ貧富の差は激しいものと思われます。ベトナム・ホーチミンにはいなかった物乞いの子供たちがいました。

楽しく安全に視察ができたのは、友達の友達は友達という考え方のおかげ。ベトナム人の友人にカンボジア人の友人がいて、その人が案内してくれました。



一口メモ
成功の秘訣

仕事を追う

出発の良し悪しが、その日の仕事に、どのように関係するか。

気をつけてためてごらん下さい。

仕事が順序よくいく。人が都合よく来る。話がよくまとまる。

それはなぜでしょうか。仕事を追うからです。朝寝をすると、もう仕事のほうが、早く目を覚まして(すべてのものは、太陽がのぼると同時に目をさます、と思ってください)、おしかけてきます。

すべての仕事は、こちらから積極的に進んで追ってするとき、全てが簡単に片付き、順序良くはかどる。こうして人生の勝利者となるのです。

「丸山敏雄一日一話」より

●本「会社は潰れるようにできている」(中経出版) 発売中!

●会社成功塾 毎週日曜日、月曜日 午前10時～12時。

戦略社長塾 毎週土曜日 午前10時～12時。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

